

文化学科

カリキュラムポリシー

<教育内容>

世界諸地域の文化を、哲学、歴史学、考古学、社会学、文化人類学、地理学、美術史、言語学、文学、図書館・情報学といった学問分野から専門的・総合的に学ぶことのできるカリキュラムを用意しています。

<教育方法> - 4年間のカリキュラム構成と特徴 -

●1年生：前期の「地域から考える文化と社会」では地域の文化や社会的問題を学ぶことで専門科目を学ぶ上での問題意識を身につけます。また、基礎・概論科目、及び、後期の「文化学研究総論」では、様々な学問領域の基礎的な考え方や知識を学んでいきます。1年生の最後には、これから専門的に学んでいくコースを決定します。

●2年生：「専門セミナー」では、各コースで学べる学問領域の理論や方法論について学修します。また、専門別・分野別科目では、学問領域ごとのより高度な理論や各地の文化事象に関する研究成果を学びます。2年生の最後には、これから専門的に学んでいくために指導教員を決定します。

●3年生：専門演習（ゼミ）では、これまで学んできた専門的知識や研究方法を活用し、演習科目の履修を通して、最も関心のある文化事象について研究を深めていきます。また専門別・分野別科目の学修を継続しながら、自分の研究テーマについて、多角的な視点からの理解を進めます。

●4年生：指導教員の指導の下に、4年間の学修の集大成として卒業論文を作成します。

<成績評価>

「三重大学成績評価ガイドライン」及び各授業のシラバスの記載内容を踏まえ、授業に対する積極的な取り組み、課題やレポートの提出、小テスト、定期試験等を用いて、授業目標の達成度により評価を行います。

<カリキュラム評価>

ディプロマ・ポリシーにもとづき、卒業生の質が保証されていることを、卒業時に実施する卒業生対象アンケート、学外関係者の意見などを参考にして評価します。また、教育内容の評価については、学生による授業アンケート等を通して点検・評価を行い、各授業科目の授業内容の改善に役立てます。

法律経済学科

カリキュラムポリシー

<教育内容>

法学・政治学・経済学・経営学といった社会科学の分野を対象にして、適性や関心を確認しながら学修できるカリキュラムを用意しています。また、社会科学の諸分野を横断的に学修することで、近年の複雑化する社会課題の解決に取り組む姿勢を養います。

<教育方法> - 4年間のカリキュラム構成と特徴 -

- 1年生：広い視野から学び始めつつ基礎の形成を前期に、「地域から考える文化と社会」の受講を通して、これからの学修の問題意識を形成します。また、1年生後期と2年生前期に受講する「専門基礎演習」では、討論の仕方や意見集約の方法など、大学での勉強の仕方を学びます。そして同時に、2年生以降の専門的学修に必要な各専門分野の基礎科目を学びます。これらを通して、1年生の期末に専門とするコースを選択します。
- 2年生：コースを選択し、コースの専門科目を中心に学び、深い専門性を身に付けることを目指します。また、専門科目の知見が社会課題等とどのように結びつくかを学び、専門演習を選択します。
- 3年生：専門演習に所属し、これまでに学修してきたなかで最も関心のあつたテーマについて、深く掘り下げて学修します。また、所属する専門演習に関連する専門科目を学び、関心に基づいて学びの幅を広げていきます。
- 4年生：専門演習の指導教員の指導のもとで、4年間の学修の集大成としての卒業論文を作成します。

<成績評価>

「三重大学成績評価ガイドライン」及び各授業のシラバスの記載内容を踏まえ、授業に対する積極的な取り組み、課題やレポートの提出、小テスト、定期試験等を用いて、授業目標の達成度により評価を行います。

<カリキュラム評価>

ディプロマ・ポリシーにもとづき、卒業生の質が保証されていることを、卒業時に実施する卒業生対象アンケート、学外関係者の意見などを参考に評価します。また、教育内容の評価については、FDなどの機会を通じて、学生による授業アンケート等を踏まえて点検・評価を行い、各授業科目の授業内容の改善に役立てます。

文化学科

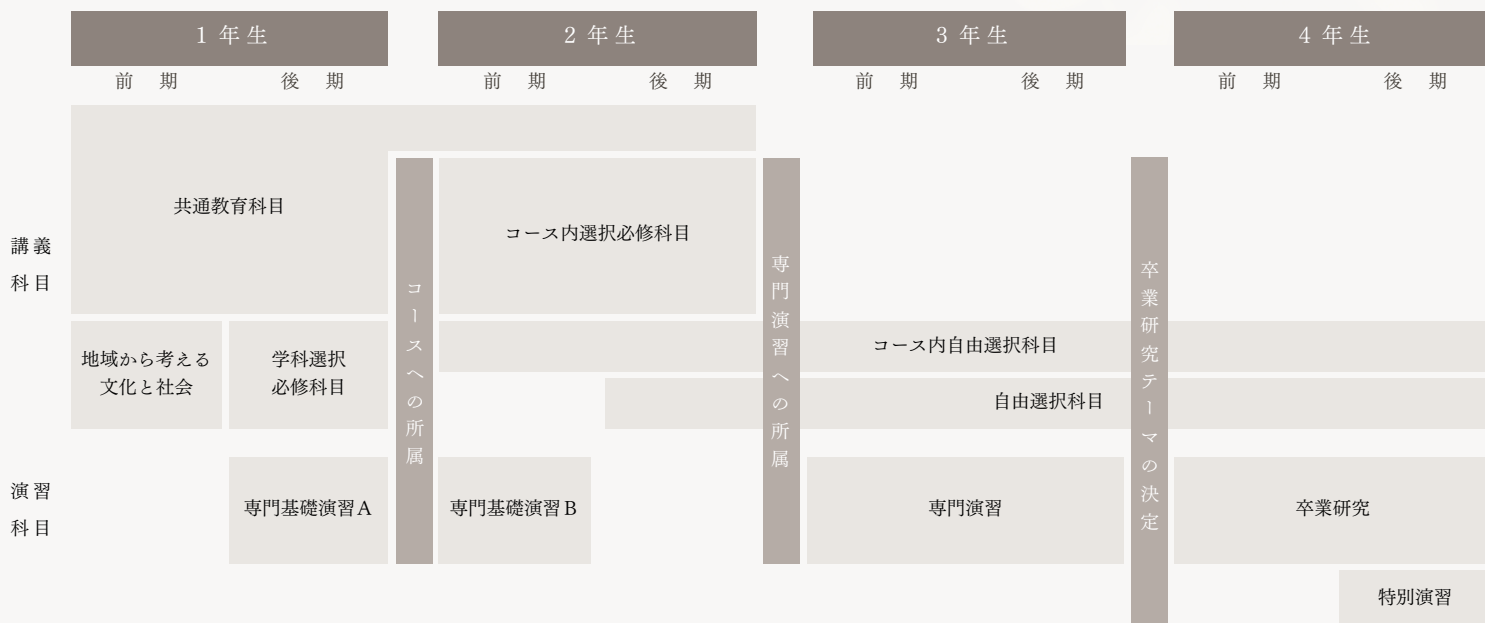
カリキュラムの図



- * 1年間の基礎的な学修のあと、様々な学問のなかから専門となる分野を選ぶことで、自分の専門分野が明確になります。
- * 「基礎・概論」「専門別・分野別」「演習」すべての科目において、定められた数の所属コース科目を履修しつつ、他コース科目も履修可能です。
- * 従前のカリキュラムと変わらず、地域固有の文化について学びを深めます。
- * 教職（中学校教諭一種・高等学校教諭一種）、学芸員、図書館司書・学校図書館司書教諭の資格の取得が可能です。
- * 各々の興味にあわせて、法律経済学科の科目を履修することもできます。（単位数に上限あり）

法律経済学科

カリキュラムの図



- * 1年間、大学での学修の仕方と各専門分野の基礎科目を学び、その後にコースを選ぶことで、自分の専門分野が明確になります。
- * 従前のカリキュラムと変わらず、法律、政治、経済、経営について学びを深めます。
- * 各々の興味にあわせて、文化学科の科目を履修することもできます。（単位数に上限あり）

文化学科

コース概要

文化資源学コース

世界の各地域で文化的に蓄積された有形無形の資源を学びの対象とします。哲学、歴史学、考古学、美術史、日本語学、日本文学、中国語学、中国文学、図書館・情報学などの諸領域にかかわる文化資源について理解を深めることで、論理的で柔軟な思考力と豊かな表現力を育むとともに、文化資源の活用をつうじて地域社会や国際社会に貢献できる人材を養成します。

科目例

西洋哲学特論	主に欧米の近現代の哲学・倫理学について考察する
日本史演習	史料の読解を通して、歴史研究の基礎を身につける
西洋史演習	西洋史に関する文献を講読し、歴史研究の方法を学ぶ
日本文学演習	主に中古・近世・近現代の日本文学の作品を解釈する
中国文学特論	中国の古典文学及び近現代の文学について考察する

国際言語文化学コース

言語や文化にかかわる課題を分野横断的に探究します。英語・フランス語・ドイツ語の専門語学科目を基礎に、言語学と文学（文化）研究の理論や方法を学ぶことで、高い外国語運用能力に支えられた確かな専門性と体系的知識を身につけ、異文化への柔軟かつ複眼的な視座を養い、多様な背景を持った人々と文化的な差異を超えて生産的に協働できる人材を養成します。

科目例

表象文化論	翻訳を使って文学・映像作品に親しむ欧米文化への入門科目
言語科学論	人間言語一般の基礎となる文法や習得の仕組みについて考察する
フランスの文学	フランスの詩や小説に触れ、その主題や表現について理解する
ドイツ語学演習	ドイツ語の言語現象を言語学的に読み解く力を養う
イギリス文学演習	作品を原書で読み、表現の特徴や文化・歴史的背景を議論する

社会・文化行動学コース

地理学、社会学、文化人類学などの学問分野の理論や研究方法を学ぶなかで、現代の国際社会や地域社会の複雑な成り立ちを理解し、それらが抱える課題を探究します。そうした学びをつうじて、人間の多様な行動と、それを取り巻く社会制度・文化・自然環境との相互作用に関する専門的理解力を有し、変化する現代社会に対応し活躍できる人材を養成します。

科目例

人文地理学概論	人間が自然を改変しながら大地の上で活動していることを考える
自然環境論演習	自然地理調査として河川や湧水などの観測・観察を行う
社会学特論	様々な社会現象を観察し、それらが生じるメカニズムを考える
社会学演習	社会学の視点から個人と社会の関わりを研究する方法を学ぶ
民族誌	世界中の人々の生活との比較の中で自文化の常識を捉え直す

法律経済学科

コース概要

法政コース

法学および政治学を中心に学び、法の適切な解釈力や国家・社会の制度等に関する基礎知識を学修します。これを通して、公平・平等・正義等の法規範や政治哲学を理解し、市民として責任ある行動ができる能力、そして、企業や行政機関等で、法に基づき公正な運用と問題解決を図れる能力の修得を目指します。

科目例

憲法Ⅰ（人権）	憲法上の権利論の基本的知識について学ぶ
民法Ⅰ（総則①）	民法の基本的諸制度および諸原理を学ぶ
刑法Ⅰ	刑法の基本的な考え方および犯罪の成立要件を学ぶ
政治学原論	政治学の基本的な概念や考え方について学ぶ
国際関係論Ⅰ	戦争と平和をめぐる国家間関係について学ぶ

経済経営コース

経済学および経営学を中心に学び、社会経済および企業経営の基本構造とそのメカニズムの基礎を学修します。これを通して、社会経済の現状や動向を的確に捉え、将来を見通して判断し行動できる能力、そして、企業や行政機関等の組織の効果的な運営や戦略立案を担える能力の修得を目指します。

科目例

基礎ミクロ経済学	消費者・企業等の行動や市場の役割を理論的に学ぶ
基礎マクロ経済学	雇用や物価等、社会経済の構造や動きを理論的に学ぶ
政治経済学Ⅰ	資本主義経済社会の特徴や課題を理論的に学ぶ
経営学総論	経営管理・戦略・組織等の課題について理論的に学ぶ
人的資源管理論Ⅰ	企業等組織においてヒトを活かす制度や方法を学ぶ

公共政策コース

現代社会の課題解決を志向して社会科学を学際的に学び、社会科学の多様な識見や手法の基礎を学修します。これを通して、現代社会の諸課題の解決に向けた新しい価値を創造する能力、そして、現代社会の課題に取り組む多様な人々の間を橋渡しし、課題解決に向けたグランドデザインを描き遂行する能力の修得を目指します。

科目例

現代政治理論	政策分析の規範（公平・平等・正義）について学ぶ
地域経済政策	地域経済分析と地域発展の経済的施策について学ぶ
自治体の政策実施と法	自治体による政策の法的手法と課題について学ぶ
ソーシャルイノベーション論	社会課題解決の手法の新たな取り組みについて学ぶ
初級統計学	地域社会の調査分析に欠かせない統計学の基礎を学ぶ